

2 従業地・通学地集計結果

(1) 昼間人口

ア 総数

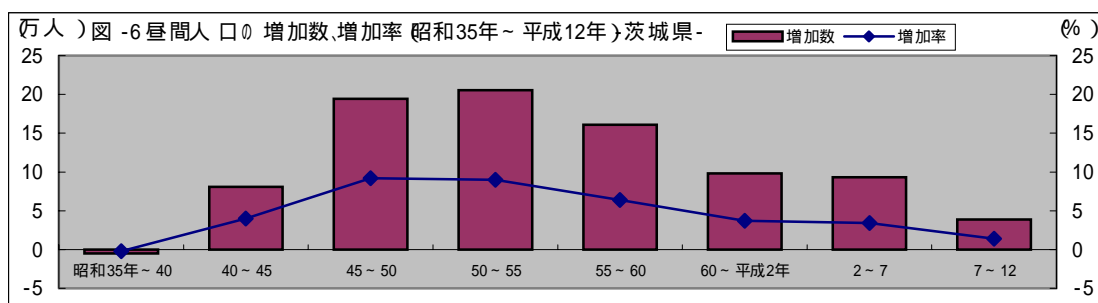
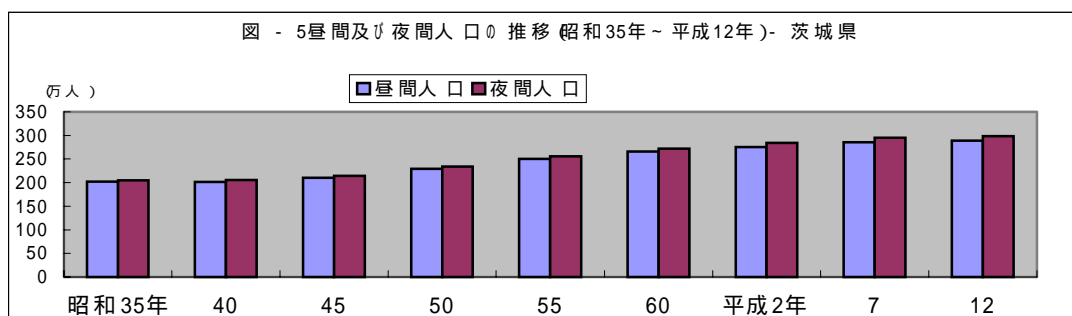
平成 12 年国勢調査による茨城県の総人口 2,985,676 人から年齢不詳を除いた夜間人口は 2,984,554 人で、昼間人口は夜間人口に対して 92,827 人少ない 2,891,727 人となっている。なお、通勤・通学のため県外へ流出する者が 169,706 人、県外から流入する者が 76,690 人となっており、県境をはさんで 246,396 人の移動が行われている。(第 10 表、図 - 5)

昼間人口の推移を見ると、昭和 35 年～平成 12 年の 40 年間で 866,607 人増加している。各 5 年間の変化をみると、昭和 35 年～40 年(増加数 4,998 人、増加率 0.2%)は減少しているが、昭和 40 年～45 年(同 80,793 人、同 4.0%)から増加に転じ、昭和 45 年～50 年(同 194,141 人、同 9.2%)、昭和 50 年～55 年(同 205,419 人、同 9.0%)、昭和 55 年～60 年(同 160,872 人、同 6.4%)、昭和 60 年～平成 2 年(同 98,201 人、同 3.7%)、平成 2 年～7 年(同 93,395 人、同 3.4%)、平成 7 年～12 年(同 38,784 人、同 1.4%)とこの傾向は続いている。

しかし、昭和 55 年～60 年以降は、増加数及び増加率とも前回を下回っている。(第 10 表、図 - 6)

昼夜間人口比率(夜間人口 100 人に対する昼間人口の割合)は昭和 35 年以来一貫して 100.0 未満であり、昼間人口が夜間人口より少ないことを示している。

また、この推移をみると、毎回緩やかに低下していたが、平成 12 年(96.9)は平成 7 年(96.6)に比べ 0.3 ポイント増加した。(第 10 表)



イ 地域・市町村別人口

昼間人口を県内 5 地域別にみると、県南地域が 912,641 人（総人口の 31.6%）と最も多く、次いで県北地域が 646,235 人（同 22.3%）、県西地域が 548,013 人（19.0%）、県央地域が 510,345 人（同 17.6%）、鹿行地域が 274,493 人（同 9.5%）となっている。

これを平成 7 年と比べると、県南地域が 36,282 人（増加率 4.1%）と最も増加数が多く、次いで鹿行地域が 3,003 人（同 1.1%）、県央地域が 1,523 人（同 0.3%）、県北地域が 18 人（同 0.0%）それぞれ増加し、県西地域は 2,042 人（同 0.4%）減少している。さらにこれを平成 2 年～7 年の増加数及び増加率と比べると、5 地域すべてにおいて増加数及び増加率とも低下している。（第 11 表，表 - 7）

昼夜間人口比率では、県央地域及び鹿行地域が 100.0 を超えており、昼間人口が夜間人口より多いことを示している。（第 11 表，表 - 7）

表-7 昼間人口（平成7年・平成12年）県地域 -

県地域	平成7年			平成12年			増加			
	昼間人口	構成比 (%)	昼夜間人口比率	昼間人口	構成比 (%)	昼夜間人口比率	平成2年～平成7年		平成7年～平成12年	
							増加数	増加率 (%)	増加数	増加率 (%)
茨城県	2,852,943	100.0	96.6	2,891,727	100.0	96.9	93,395	3.8	38,784	1.4
県北地域	646,217	22.7	97.1	646,235	22.3	97.3	5,586	0.9	18	0.0
県央地域	508,822	17.8	103.6	510,345	17.6	103.4	13,076	2.6	1,523	0.3
鹿行地域	271,490	9.5	100.9	274,493	9.5	100.2	7,572	2.9	3,003	1.1
県南地域	876,359	30.7	92.4	912,641	31.6	93.4	58,615	7.2	36,282	4.1
県西地域	550,055	19.3	94.9	548,013	19.0	95.1	8,546	1.6	2,042	0.4

次に、市町村別昼間人口をみると、市部では 20 万人以上が水戸市（289,459 人）及び日立市（210,137 人）の 2 市、10 万人以上 20 万人未満がつくば市（185,983 人）、土浦市（151,957 人）及びひたちなか市（147,811 人）の 3 市、5 万人以上 10 万人未満が 7 市、3 万人以上 5 万人未満が 7 市、3 万人未満が 1 市となっている。（第 11 表，表 - 8）

郡部では 5 万人以上が神栖町（56,782 人）及び総和町（51,479 人）の 2 町、3 万人以上 5 万人未満が 7 町村、1 万人以上 3 万人未満が 35 町村、1 万人未満が 21 町村となっている。（第 11 表，表 - 8）

表－8 昼間人口の多い(少ない)市町

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	昼間人口(人)	市町村名	昼間人口(人)
1	水戸市	289,459	七会村	2,115
2	日立市	210,137	美和村	3,648
3	つくば市	185,983	御前山村	3,676
4	土浦市	151,957	里美村	3,980
5	ひたちなか市	147,811	緒川村	4,351
6	取手市	69,279	水府村	5,181
7	龍ヶ崎市	69,061	桂村	5,551
8	鹿嶋市	68,000	牛堀町	5,625
9	下館市	67,938	桜川村	6,814
10	神栖町	56,782	瓜連町	6,818

また、昼夜間人口比率では、五霞町が 120.1 と最も高く、次いで水戸市(117.5)、神栖町(117.2)、土浦市(112.8)、つくば市(112.1)の順となっており、上位15市町村までが100.0を超えている。一方、最も低いのは利根町(60.9)で、次いで伊奈町(74.7)、瓜連町(75.0)、十王町(75.6)の順となっている。(第11表,表-9)

表－9 昼夜間人口比率の高い(低い)市町村

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口比率	市町村名	人口比率
1	五霞町	120.1	利根町	60.9
2	水戸市	117.5	伊奈町	74.7
3	神栖町	117.2	瓜連町	75.0
4	土浦市	112.8	十王町	75.6
5	つくば市	112.1	藤代町	75.9
6	鹿嶋市	109.2	茎崎町	77.4
7	日立市	108.7	常北町	78.0
8	総和町	107.2	桂村	78.7
9	水海道市	106.8	美和村	79.1
10	東海村	104.6	金砂郷町	79.1

県平均は 96.9

(2) 通勤・通学人口

ア 従業地・通学地による就業者・通学者数

平成 12 年の 15 歳以上就業者（1,504,046 人）の従業地についてみると、自宅外での就業者が 1,235,761 人となっており、また、15 歳以上通学者は 185,661 人である。したがって、自宅外を従業地・通学地とする 15 歳以上の通勤・通学者は 1,421,422 人となっている。（表 - 10, 表 - 11）

この通勤・通学者のうち職場・学校が自分の住んでいる市町村内（以下、「自市町村内」という。）にある者は 707,502 人（通勤・通学者数の 49.8%）、職場・学校が自分の住んでいる市町村外（以下、「他市町村」という。）にある者は 713,920 人（同 50.2%）となっている。さらに、他市町村へ通勤・通学している者のうち、県内の他市町村へ通勤・通学している者は 544,214 人（同 38.3%）、県外の他市町村（以下「他県」という。）へ通勤・通学している者は 169,706 人（同 11.9%）となっている。（表 - 10）

通勤・通学者数を平成 7 年と比べると、通勤者が 16,254 人（増加率 1.3%）増加しているのに対し、通学者は 19,642 人（減少率 9.6%）減少している。また、構成比では自市町村内が 51.3% から 49.8% へ 1.5 ポイント低下しているのに対し、他市町村は 48.7% から 50.2% へ 1.5 ポイント上昇している。（表 - 10）

次に、通勤者を従業地別にみると、自市町村が 622,537 人（通勤者数の 50.4%）、県内の他市町村が 472,647 人（同 38.2%）、他県が 140,577 人（同 11.4%）となっており、一方、通学者は自市町村内が 84,965 人（通学者数の 45.8%）、県内の他市町村が 71,567 人（同 38.5%）、他県が 29,129 人（同 15.7%）となっている。（表 10）

イ 従業地による就業者数

従業地による 15 歳以上就業者数の推移をみると、自市町村内のうち自宅での就業者数は、農林漁業就業者数や家族従業者数の減少などにより減少を続けており、就業者数に占める割合も、昭和 50 年の 42.7% から平成 12 年の 17.8% へと 25 年間に半分以下に減少している。

これに対し自市町村内の自宅外での就業者数割合及び他県へ通勤している就業者数割合は、50 年以降一貫して上昇してきたが、今回は前回は下回った。（表 - 11）

なお、県内の他の市町村へ通勤している就業者数割合は引き続き増加を続けている。（表 - 11）

表 - 10 従業地・通学地別15歳以上通勤・通学者数（平成7年，平成12年） - 茨城県 -

従業地・通学地	平成7年	構成比(%)	平成12年	構成比(%)	平成7年～平成12年	
					増加数	増加率(%)
通勤・通学者	1,424,810	100.0	1,421,422	100.0	3,388	0.2
自市町村内	730,751	51.3	707,502	49.8	23,249	3.2
他市町村内	694,059	48.7	713,920	50.2	19,861	2.9
県内	519,024	36.4	544,214	38.3	25,190	4.9
他県	175,035	12.3	169,706	11.9	5,329	3.0
通勤者	1,219,507	100.0	1,235,761	100.0	16,254	1.3
自市町村内	637,793	52.3	622,537	50.4	15,256	2.4
他市町村内	581,714	47.7	613,224	49.6	31,510	5.4
県内	438,563	36.0	472,647	38.2	34,084	7.8
他県	143,151	11.7	140,577	11.4	2,574	1.8
通学者	205,303	100.0	185,661	100.0	19,642	9.6
自市町村内	92,958	45.3	84,965	45.8	7,993	8.6
他市町村内	112,345	54.7	100,696	54.2	11,649	10.4
県内	80,461	39.2	71,567	38.5	8,894	11.1
他県	31,884	15.5	29,129	15.7	2,755	8.6

表 - 11 従業地別15歳以上就業者数の推移（昭和50年～平成12年） - 茨城県 -

従業地	昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	12年
就業者数	1,141,449	1,241,868	1,325,340	1,430,686	1,515,816	1,504,046
自市町村内	895,235	909,433	906,680	927,854	934,102	890,822
自宅	487,090	451,029	392,199	357,311	296,309	268,285
自宅外	408,145	458,404	514,481	570,543	637,793	622,537
県内他市町村	183,595	248,416	317,896	378,681	438,563	472,647
他県	62,619	84,019	100,764	124,151	143,151	140,577
構成比(%)						
就業者数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自市町村内	78.4	73.2	68.4	64.9	61.6	59.2
自宅	42.7	36.3	29.6	25.0	19.5	17.8
自宅外	35.8	36.9	38.8	39.9	42.1	41.4
県内他市町村	16.1	20.0	24.0	26.5	28.9	31.4
他県	5.5	6.8	7.6	8.7	9.4	9.3

次に、市町村別に 15 歳以上就業者数の従業地別割合をみると、自宅外の自市町村で従業している就業者数の割合が最も高いのは、日立市で(75.1%)で、以下、水戸市(64.5%)、神栖町(63.5%)、鹿嶋市(62.9%)、つくば市(60.1%)の順となっており、上位7市町で50.0%を超えている。逆に最も低いのは、利根町(14.9%)で、以下、北浦町(15.6%)、旭村(16.1%)の順となっている。(第14表、第15表、表-12)

県内の他の市町村へ通勤している就業者数の割合が最も高いのは、十王町(68.5%)で、以下瓜連町(62.0%)、千代田町(57.6%)、那珂町(55.7%)、常北町(55.3%)の順となっている。逆に最も低いのは五霞町(6.6%)で唯一10.0%を下回っており、以下、大子町(13.9%)、日立市(14.1%)の順となっている。(第14表、第15表、表-12)

他県へ通勤している就業者数の割合が最も高いのは、利根町(48.0%)で、以下、取手市(45.1%)、藤代町(41.6%)、五霞町(39.1%)、古河市(34.6%)の順になっており、逆に最も低いのは、常陸太田市の0.2%で、以下、旭村、金砂郷町の0.3%、山方町、水府村の0.4%、大洗町及び鉾田町の0.5%の順となっている。(第14表、第15表、表-12)

表 - 12 就業者数の従業地別割合の高い(低い)市町村

(自宅外の自市町村)

順位	上位10市町村		下位10位市町村	
	市町村名	割合(%)	市町村名	割合(%)
1	日立市	75.1	利根町	14.9
2	水戸市	64.5	北浦町	15.6
3	神栖町	63.5	旭村	16.1
4	鹿嶋市	62.9	藤代町	17.1
5	つくば市	60.1	十王町	17.2
6	ひたちなか市	53.7	金砂郷町	17.7
7	北茨城市	52.4	瓜連町	18.2
8	土浦市	48.4	桂村	18.6
9	大子町	47.8	茎崎町	20.1
10	総和町	47.0	内原町	20.2

注)県平均は41.4%

(県内他市町村)

順位	上位10市町村		下位10位市町村	
	市町村名	割合(%)	市町村名	割合(%)
1	十王町	68.5	五霞町	6.6
2	瓜連町	62.0	大子町	13.9
3	千代田町	57.6	日立市	14.1
4	那珂町	55.7	結城市	18.1
5	常北町	55.3	取手市	18.5
6	内原町	54.3	神栖町	19.0
7	新治村	52.0	総和町	19.1
8	常陸太田市	51.8	古河市	20.9
9	金砂郷町	51.7	水戸市	20.9
10	千代川村	51.0	鹿嶋市	21.4

注)県平均は31.4%

(他県)

順位	上位10市町村		下位10位市町村	
	市町村名	割合(%)	市町村名	割合(%)
1	利根町	48.0	常陸太田市	0.2
2	取手市	45.1	旭村	0.3
3	藤代町	41.6	金砂郷町	0.3
4	五霞町	39.1	山方町	0.4
5	古河市	34.6	水府村	0.4
6	守谷町	30.8	大洗町	0.5
7	牛久市	29.3	銚田町	0.5
8	茎崎町	28.4	日立市	0.6
9	龍ヶ崎市	26.9	常北町	0.7
10	結城市	24.6	瓜連町	0.7

注)県平均は9.3%